

作品研究) 『PERSONALITY』  
学苑祭における教員の作品展示 2023  
— Infinite possibilities～美容芸術～—  
( 『PERSONALITY』 Gakuen Festival Teacher Works Exhibition  
—infinite possibilities～Beauty art～—)

内野美希<sup>1)</sup>

抄録

2023年10月28日に開催された本学の学苑祭<山短祭2023>(テーマ「true companions ～個性ときめけ～」)の作品展示ブースにて、美容を担当する若手教員3名が「Infinite possibilities～美容芸術～」と題し、美容芸術の持つ無限の可能性をテーマに、「クール」「アクティブ」「キュート」の異なる3つのテイストを表現した作品を制作し、展示した。これにより、美容芸術の固定概念に捉われず、学生一人ひとりが自分のポテンシャルをさまざまな形で発揮してほしいという願いと挑戦への後押しになることを目指した。

キーワード：美容技術 美容芸術 山野美容芸術短期大学 クリエイティブ ウィッグ作品

I. はじめに

2023年10月に開催された<山短祭2023>(テーマ「true companions ～個性ときめけ～」)のコンセプトに合わせて、美容を担当する若手教員3名が、頭部ウィッグを用いた作品を制作し、展示した。学苑祭のコンセプトである「個性」から「クール」「アクティブ」「キュート」の異なる3つのスタイルを設定し、制作することとした。美容芸術で表現するために、「ヘアカット」「ヘアカラー」「ヘアセット」「メイク」の美容技術を行うとともに、展示にふさわしい「装飾」も施した。

作成するにあたり、使用するウィッグや道具は実際に「美容デザイン実習Ⅳ」授業内での作品制作試験と同様の規定とし、学生へ「作品制作に対するやりがいと達成感を表現したい」ということと「美容芸術の固定観念を払拭し、非日常を表現してほしい」という願いを込めた。

II. 作品紹介

作品テーマの「PERSONALITY」は可愛らしさを取り入れながらも個性を表現した作品である。

個性を表現する上であえて作品のあらゆる部分にアシンメトリーを取り入れた。

「ヘアカット」では右側はベーシックなワンレングスを取り入れ、左側は3段構成でブロッキングを分けとり、それぞれのパネルをワンレングスにした。

何事も皆一斉に基礎から始めるが、徐々に個性が生まれるのを表現するため、あえてカットの基礎となるワンレングスをベースに制作した。

「ヘアカラー」では発色の良いヘアマニキュアを使

用し、キュートや元気を色のイメージで表現するためにイエローとオレンジを使用した。右側は全体のブロンドヘアを活かすために、毛先にイエローを入れた。

左側は各パネルに一色ずつカラーを入れ、3段が重なり合っているのを強調させた。

「ヘアセット」ではカールアイロンとストレートアイロンを使用し、左右でのアシンメトリーを強く表現した。

右側は細かく巻くことで曲線が作られ、ヘアカラーと相俟ってキュートさを表現した。

左側はすべて直線にすることでクールさと落ち着いた印象を持たせた。

スタイリング剤は束感を演出するため、ヘアワックスを馴染ませ、全体的に艶感が出るようにヘアスプレーで仕上げた。

「メイク」では、ヘアカラーで取り入れたイエローとオレンジをベースに活気のある印象に仕上げた。

目尻を跳ね上げさせ活発さを出しつつ、チークにそばかすを加え、眉にドライフラワーを入れることでキュートさを演出している。メイク全体の締め色として、リップには赤を取り入れ、ラメを上から乗せることで輝きをプラスした。

「装飾」では統一感を出すために、これまでの過程で使用した色の絵の具とレジンを使用し、花びらを一枚ずつ作成しウィッグを取り囲むように接着した。また、キュートさを表現するために動きの出るレースを巻いた。

「PERSONALITY」をテーマに制作した本作品には、さまざまな個性が散りばめられている。「自分の個性を表現することは自由だ」というメッセージを感じ取っていただきたい。

1) UCHINO Miki

山野美容芸術短期大学

連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鎌水 530



『「PERSONALITY」』

山野学苑山野美容芸術短期大学

学苑祭 2023年10月28日

作品展示ブース



参考文献

- 1) 富田知子他 「美容と美術の共同プログラム」  
山野研究紀要 24号-25号 pp17-24 2016-2017
- 2) 山野美容芸術短期大学  
<https://www.yamano.ac.jp/>

提出日：2023/12/20